



ワトソン看護論

ヒューマンケアリングの科学 第2版

著：ジーン・ワトソン／訳：稲岡文昭・稲岡光子・戸村道子／医学書院

定価：本体 2,700 円 + 税／TEL：03-3817-5657

■本書は「1985年刊行『Nursing: Human Science and Human Care: A Theory of Nursing』の改訂版です。長年の教育・研究の積み重ね、ケアリング実践者との対話をとおしたもっとも新しい私の知見を包括しています」(「ジーン・ワトソン博士より日本の読者に」より)。「人間の科学」と「ヒューマンケアリング」、2つの核概念に立脚し、国や時代を超えて、人々の命の尊厳に道徳的・倫理的、かつ科学的責務を果たさんというすべての看護職へのメッセージ。ヒューマンケアリングが、新たな境地を切り拓く。

クレイジー・イン・ジャパン

べてるの家のエスノグラフィ

著：中村かれん／監訳：石原孝二・河野哲也／医学書院

定価：本体 2,200 円 + 税／TEL：03-3817-5657

■日本人を両親にもつイェール大学の人類学者が、7年以上にわたる「べてるの家」での経験を通して、日本で「クレイジー」として暮らすことを報告する。設立30年を超え法人化された「べてる」も、重要な転換点を迎えているが、「長期の施設入所に代わりうる唯一の選択肢」であり、メンバーは「友人に囲まれながら死ぬことを」知っているのである。日本の精神医療のあり方に大きな衝撃を与えたべてるの変遷と、べてるの人々の生活を透かして見える日本の精神医療の現状とが読み手に迫る。



ナラティブ(NBM)とかエビデンス(EBM)とか看護研究とかさっぱりわかんない！というナースのためのナラエビ医療学入門

著：斎藤清二／日本看護協会出版会

定価：本体 1,500 円 + 税／TEL：0436-23-3271

■医療におけるナラティブ・ベイスド・メディスン(NBM)の普及に努めてきた著者が、患者の最も近くで働くとする看護師の卵たちを対象に、看護に活かすナラティブを医療現場における医学的エビデンスの活かし方とからめて、わかりやすく解説しながら、ナラティブのアプローチの実践と成果へつながる道筋を示す。「EBMとNBMは患者中心のための医療のための車の両輪」(本文より)の言葉に説得力あり！ナラティブを授業で活用したい先生方にもおススメです。

青空文庫で社会学

「孤独な心」をめぐる15章

著：渡部真・小池高史／書肆クラルテ

定価：本体 2,000 円 + 税／TEL：075-495-4839

■本誌で以前連載の「ユースカルチャーの現在」で、時代の若者観を語った2人の著者も60代と30代。その2人が若者に読み継がれる文学作品から、「孤独」をめぐる対話を繰りひろげる15章。「文学的想像力と社会学的想像力との交差に道をひらく対話編」(本書帯より井上俊氏の言葉)。時代を超え、空間を越えて、人が生きることと社会の営みを見つめる。文学への入り口としても楽しい読み物。

